



Association for  
Ophthalmic  
Cooperation in  
Asia

# 2006 年度ダラムサラ

## アイキャンプ完了報告書

2006 年 12 月 16 日～2007 年 1 月 2 日



特定非営利活動法人

## アジア眼科医療協力会

兵庫県西宮市甲子園口北町 4-29-103 〒663-8112

TEL. 0798-67-3821 FAX. 0798-67-3823

URL:<http://www.aoca.jp/> E-mail: [info@aoca.jp](mailto:info@aoca.jp)

## ダラムサラ・アイキャンプ完了報告書

＝ 2006 年度のアイキャンプはボランティア貯金配分金からの助成で行われました＝

当会はインド北西部にあるダラムサラのチベット難民コミュニティに対して眼科医療支援を行っている。この地にはチベット人眼科医が不在で、チベット亡命政府を基に成り立つコミュニティという性質上、政府間援助の手が届きにくい。ダラムサラでは6年前から白内障患者の開眼手術(アイキャンプ)を実施してきたが、2006 年度も当会の支援がカウンターパートであるデレク病院と現地住民から待たれており、事業を行う必要があった。

デレク病院でのアイキャンプ活動をより効率的に行うため、当年度はダラムサラおよび周辺のチベット難民コロニーにおいて白内障患者発掘のスクリーニングキャンプを実施した。このスクリーニングのパートをデレク病院のチベット人眼科助手とインド人眼科医による協働で行った。このような人的交流により両者の関係が親密になることを期待して本事業は行われている。2006 年度の活動報告を以下に掲載する。

**活動実施地域:** インド共和国・ヒマチャル・プラディッシュ州カングラ地区ダラムサラ



ヒマチャル・プラディッシュ州カングラ地区  
ダラムサラ

**現地協力団体:** Delek Hospital (デレク病院)  
Dharmasala Rotary Club (ダラムサラ・ロータリークラブ)  
Zonal Hospital (ゾーナル病院)

**事業期間:** 平成 18 年 12 月 16 日～平成 19 年 1 月 2 日

<b>派遣者名・派遣期間</b>	籠谷 保明	眼科医	平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 2 日
	岡田 明	眼科医	平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 2 日
	今川 幸宏	眼科医	平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 2 日
	川邨夫美子	看護師	平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 2 日
	安嶋 郁子	写真家	平成 18 年 12 月 23 日～平成 19 年 1 月 2 日
	小川 康	通 訳	平成 18 年 12 月 18 日～平成 19 年 1 月 2 日
	古寺 瑞代	AOCA 事務局	平成 18 年 12 月 16 日～平成 19 年 1 月 2 日

**事業内容:平成 18 年 12 月**

チベット難民居住区における白内障患者への施術を効率よく行うため、事前の患者スクリーニングを現地チベット人眼科助手とインド人眼科医の協働のもと Khanyara, Chambi, Garoh, Chari, Mandi, Baba Baroh, Nagrota, Yol, Mcleod Ganji などで実施し、約 400 名の受診者の中から白内障手術適応患者を選別した。

**平成 18 年 12 月 25 日 & 26 日**

日本人眼科医、看護師及びボランティアで編成した日本人チームがダラムサラ入りし、手術適応のある患者 70 名を選別した。

**平成 18 年 12 月 26 日**

選別した白内障患者 25 名の手術を行った。

**平成 18 年 12 月 27 日**

前日手術をした患者の術後の経過を診察し点眼薬等薬品の処方をした後、23 名の白内障患者の手術を行った。

**平成 18 年 12 月 28 日**

前日手術をした患者の術後の経過を診察し点眼薬等薬品の処方をした後、22 名の白内障患者の手術を行った。

**平成 18 年 12 月 29 日**

前日手術をした患者の術後の経過を診察し点眼薬等薬品の処方をした。

**受益者総数: 約 400 名 白内障手術患者数 70 名**